生成AIの出力を「一度きりのガチャ」から「再現できる仕事の仕組み」へ

リバースプロンプトエンジニアリング実践セミナー

～良い成果物から逆算する、新しいAI活用の設計手法～

ChatGPT・Gemini・Copilot などを使っても、思いどおりの成果物ができない

便利だと感じる一方で、「期待したものが出てこない」「毎回仕上がりが違う」「結局、自分で修正する方が早い」と感じたことはありませんか？
生成 AI を業務で活用するうえで大切なのは、上手な指示文を考えることだけではありません。目指すべき成果物を明確にし、その成果物を作るための情報の読み取り方、判断基準、構成、出力形式を AI に理解させることです。
本セミナーでは、完成された理想の成果物から仕事のルールを逆算し、異なる情報からでも一定の品質で再生成できるようにする「リバースプロンプトエンジニアリング」を、実務事例を交えて解説します。

こんなお悩みはありませんか？

- 生成 AI を導入したものの、自分の業務でどう活用すればよいかわからない
- 同じ AI を使っているのに、使いこなせる人とそうでない人の差が大きい
- 毎回、出力内容や資料の構成が変わり、手直しに時間がかかる
- 一度うまくいったプロンプトを使っても、次回は期待どおりに仕上がらない
- 社内で便利なプロンプトを共有しても、他の社員がうまく使えない
- 生成 AI を個人の活用で終わらせず、組織全体の業務改善につなげたい

その課題、AI への「指示の出し方」だけでなく、「仕事の完成形とルールの定義」に原因があるかもしれません。

生成 AI を「使う」から、仕事の成果を「再現する」へ

従来の生成 AI 活用では、「何をしてほしいか」を考えてプロンプトを作成する方法が一般的です。
例えば、「会議の議事録を作成してください」と指示すれば、AI は議事録らしい文章を作ってくれます。
ところが、実際の業務ではどうでしょうか。
営業会議では案件の進捗や次の行動が重要になり、製造現場では品質・安全・工程に関する正確な記録が求められます。会議の目的によって、記載すべき項目も判断基準も異なります。
そこで活用したいのが、リバースプロンプトエンジニアリングです。
先に「理想の議事録」を用意し、その構造や情報の分類方法、判断基準、書式などを分析。新しい会議の情報を入力しても、同じルールで議事録を作成できるように設計します。一度だけ良い回答を得るのではなく、繰り返し使える業務の仕組みへ。生成 AI の活用を、次の段階へ進めるための考え方です。

このような方におすすめです

生成 AI の成果を安定させたい方　／　社内 DX・AI 活用の推進担当者
業務標準化・属人化解消に取り組む方　／　帳票・資料作成を効率化したい方

セミナープログラム

「良い成果物を、一度きりで終わらせない」

1. 生成 AI を業務で活用する際の 3 つの壁
2. プロンプトエンジニアリングとリバースプロンプトエンジニアリングの違い
3. 理想の成果物から逆算する基本概念
4. 再現性を高める実践 5 ステップ
5. 業務での具体的な実践事例
6. 個人活用から組織全体への水平展開

本セミナーで学べること

- 生成 AI の活用が業務に定着しない理由
- プロンプトエンジニアリングとの違い
- 再現性を高める実践 5 ステップ
- 実際の業務を想定した活用事例
- 個人の成功を組織全体へ広げる方法

優れたプロンプトを共有するだけでは、業務の標準化にはつながりません。異なる担当者やデータでも使えるかを検証し、個人のノウハウを組織の資産へ変えるポイントを学びます。

開催概要

◆ **日時：2027年1月25日(月) 15:30～16:30**
（15:30～16:00 セミナー／16:00～16:30 質疑応答）

◆ **会場：オンライン（Zoom を使用）**

◆ **会費：無料**

講師

假屋 翔太　株式会社活コンサルタント 国家資格キャリアコンサルタント/生成 AI 活用コンサルタント



企業の人材育成、業務改善、組織づくりを支援する研修講師・コンサルタント。
2023 年から生成 AI の実務活用に取り組み、200 種類以上の AI ツールや活用方法を検証。ChatGPT・Gemini・Copilot などの使い分けから、業務効率化、プロンプト設計、社内チャットボット構築まで、現場の課題に合わせた導入・活用を支援している。
単なるツール操作の説明ではなく、日常業務の課題を起点として、AI をどのように活用し、組織の業務改善につなげるかを重視した研修を行っている。

お申込み

こちらのページより
お申し込みください

お問合せ

株式会社活コンサルタント
TEL： 052-364-9260
MAIL: kamiya@kconsulting.jp